

# PORT of HAKATA

2025  
Gateway to  
Asia and the World



# PORT of HAKATA

2025  
Gateway to  
Asia and the World



## 福岡市港湾空港局

福岡市博多区沖浜町12-1博多港センタービル  
TEL 092-282-7183

Port & Airport Bureau, Fukuoka City  
Hakata Port Center Bld. 12-1 Okihama-machi, Hakata-ku,  
Fukuoka City 812-8620  
<https://www.city.fukuoka.lg.jp/kowan/hakata-port/>



# 九州とアジア・世界をつなぐ「アジアのゲートウェイ」

Asian Gateway Linking Kyushu with Asia and the World

博多港は、九州・西日本の海の玄関口として、また、アジア・世界につながる拠点港湾として発展しており、今後の貨物の増加や船舶の大型化に対応するため、アイランドシティコンテナターミナルの機能強化を進めています。(令和6年国際海上コンテナ取扱個数約88万TEU) また、韓国・台湾との高速RORO船と国内の多様な輸送モードが連携するなど、国内外の充実した物流ネットワークを形成しています。

人流においても、日韓定期航路に加え、世界的なクルーズ客船の発着港および寄港地としての高いニーズがあります。

博多港は、東アジアに近い地理的優位性を活かし、陸・海・空の多様な輸送モードや、アイランドシティ・中央ふ頭などにおける物流、人流のゲートウェイ機能の充実強化により、九州とアジア・世界をつなぐ「アジアのゲートウェイ」の推進を図ります。

西福岡マリナタウン  
Nishi Fukuoka Marina Town

シーサイドももち  
Seaside Momochi

福浜地区  
Fukuhama Area

荒津地区  
Aratsu Area

須崎ふ頭  
Suzaki Wharf

中央ふ頭  
Chuo Wharf

博多ふ頭  
Hakata Wharf

天神  
Tenjin

# PORT OF HAKATA

The Port of Hakata has expanded as a sea gateway of Kyushu and the western Japan or as a hub port connecting to Asia and the world. To deal with the increasing volume of cargoes and larger vessels in the future, functional enhancements to the Island City Container Terminal are underway (Approximately 880,000 TEUs of international seaborne container handling in 2024). Furthermore, the port has created a well-developed domestic/international distribution network of high-speed ro/ro vessels route to South Korea and Taiwan with various domestic transportation modes.

In terms of human flow, Hakata is in high demand as an arrival/departure port and port of call for ships of the world's well-known cruise lines, in addition to Japan-Korea liner routes.

The Port of Hakata strives to become an Asian gateway linking Kyushu with Asia and the world by taking advantage of its geographical proximity to East Asia, strengthening various transportation modes such as trucks, vessels and airplanes and enhancing its function as a gateway of cargo/passenger transportation at Island City, Chuo Wharf and etc.

アイランドシティ  
Island City

箱崎ふ頭  
Hakozaki Wharf

東浜ふ頭  
Higashihama Wharf

香椎パークポート  
Kashii Park Port

博多  
Hakata

福岡空港  
Fukuoka Airport

## C O N T E N T S

### ◎アジアのゲートウェイ Asian Gateway

博多港の概要 Outline of Hakata Port	2
博多港の物流ネットワーク Logistics Network at Hakata Port	4
国際コンテナターミナルの概要 Outline of International Container Terminals	6

国内外旅客航路 Domestic and International Passenger Ferry Routes	8
博多港の港勢 Status of Hakata Port	10
◎ふ頭案内 Portraits of Wharves	
アイランドシティ・香椎パークポート Island City and Kashii Park Port	14
箱崎ふ頭 Hakozaki Wharf	16

中央ふ頭・博多ふ頭 Chuo Wharf and Hakata Wharf	18
須崎ふ頭 Suzaki Wharf	20
東浜ふ頭・荒津地区 Higashihama Wharf and Aratsu Area	21
博多港のまちづくり Town Planning of Hakata Port	22
エコパークゾーン Eco Park Zone	23

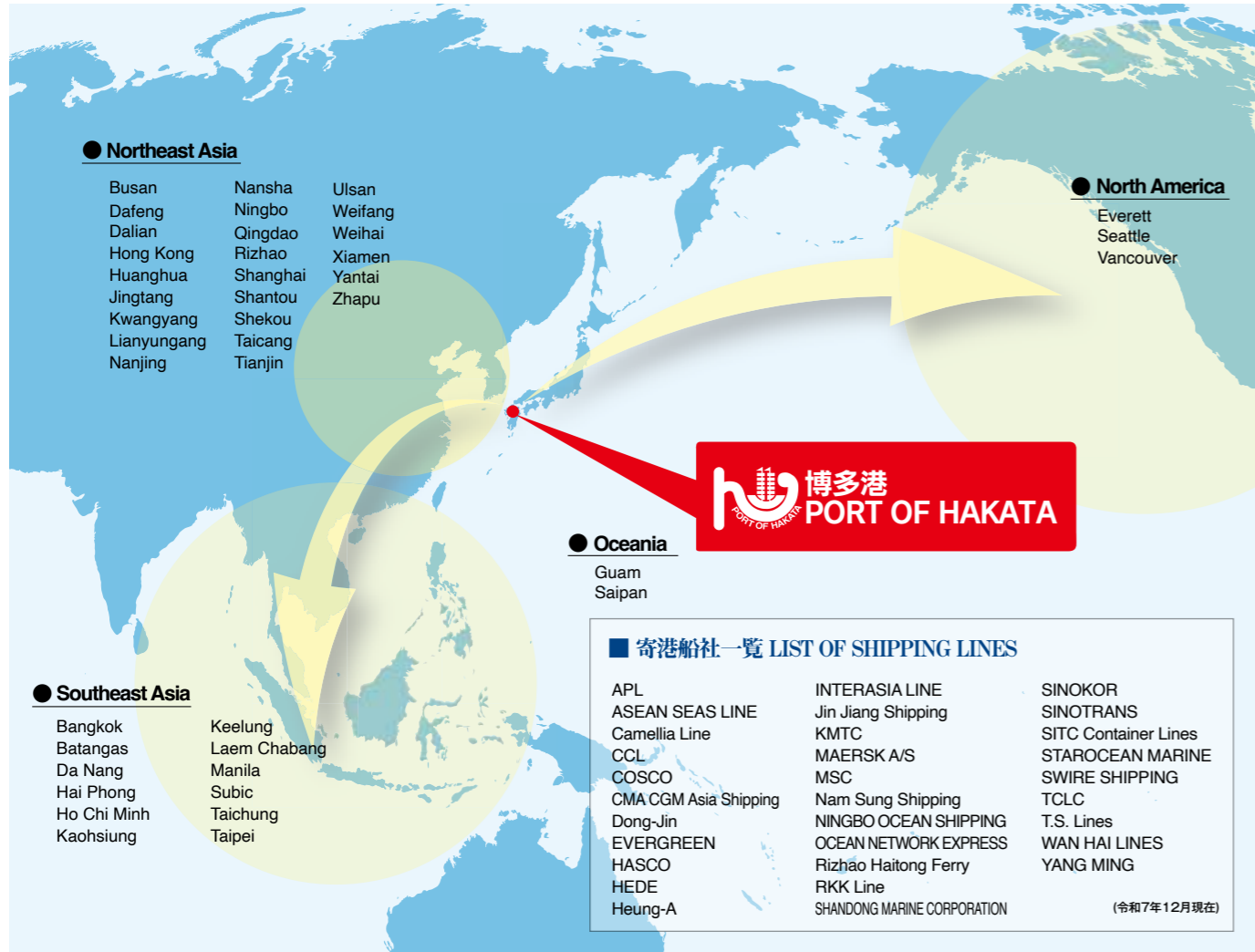
### ◎参考 Reference

姉妹港・友好港・貿易協力港・相互交流港 Sister Ports, Trade Enhancement Ports Friendship Ports	24
開港からのあゆみ History of Hakata Port	26



# 日本各地・世界を結ぶ 博多港の物流ネットワーク

Logistics Network at Hakata Port



博多港は、アジア、北米など8か国・地域の41港と44航路月間210便（令和7年12月現在）のコンテナ航路ネットワークで結ばれています。

The network of 210 monthly services on 44 international liner container routes (as of December, 2025) connects Hakata Port to 41 ports in 8 countries and regions in Asia and North America. The port is smoothly connected with domestic sea, rail, air, or land transportation and has enhanced the international intermodal logistics system.

内航、鉄道、航空、陸送の国内輸送サービスとも円滑に連携しており、国際複合一貫輸送ネットワークの充実を図っています。



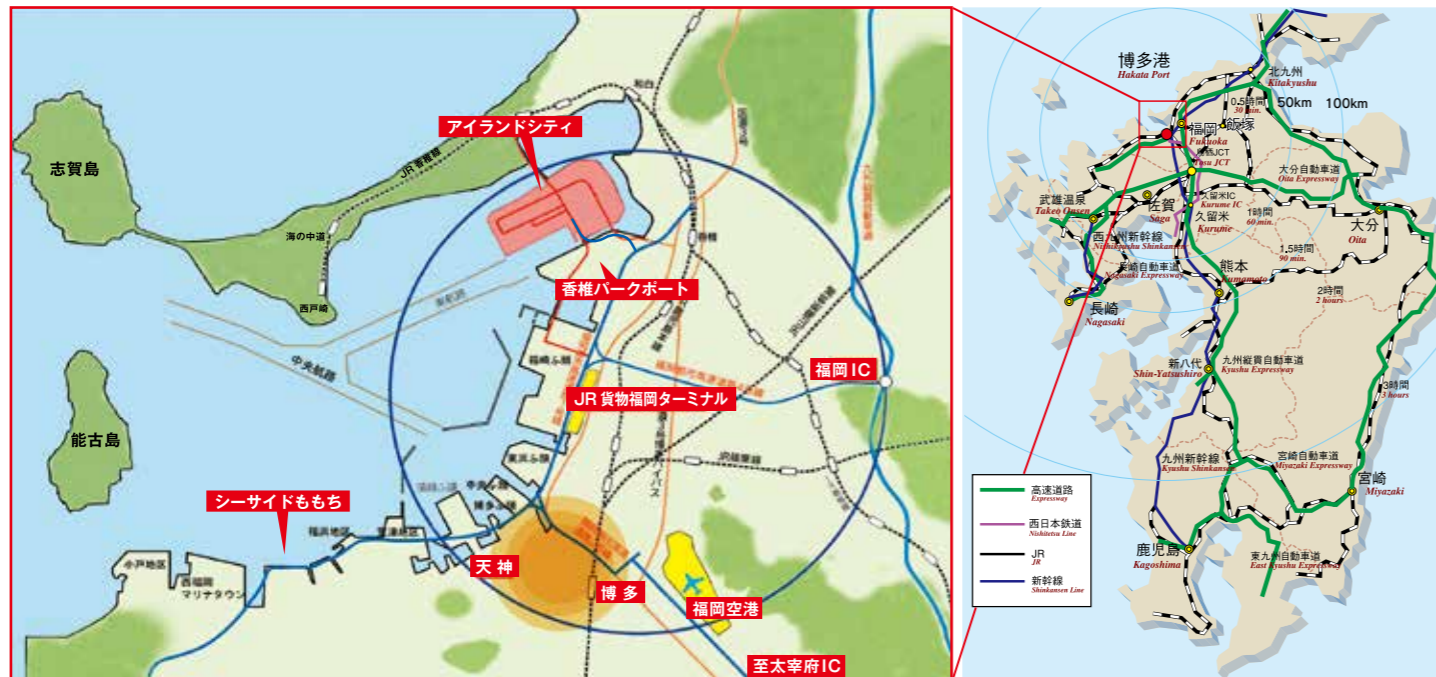
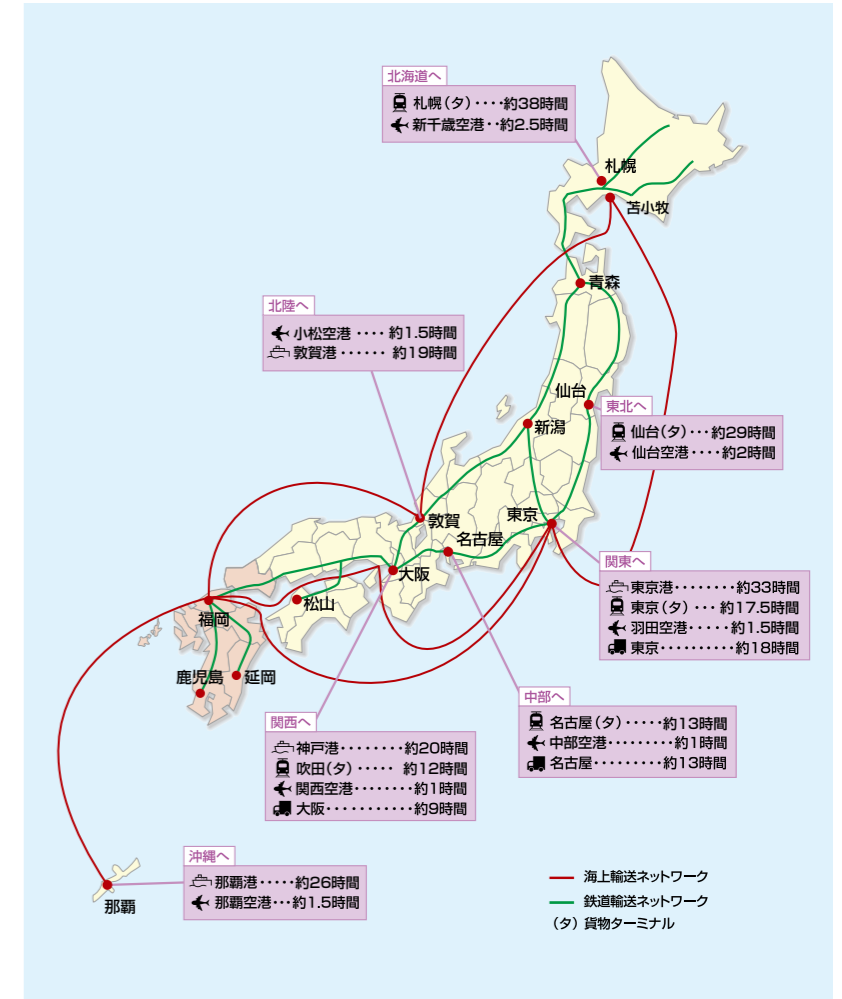
**■内航船(博多港)**  
関東・関西・北陸・沖縄などとの内航船の航路網が充実しています。特に東京港とは最速33時間でデイリー運航する高速RORO船が週6便就航中です。



**■航空機(福岡空港)**  
取扱貨物量(令和6年度)は国内線第4位、国際線第5位の日本有数の空港です。アイランドシティから約10km(所要時間15分)でSEA&AIRなど新しい物流形態にも対応可能です。



**■鉄道(JR貨物福岡ターミナル)**  
箱崎ふ頭に隣接するJR貨物福岡ターミナルは、北海道から鹿児島までダイレクトに結ぶ列車が発着しています。



外航、内航、鉄道、航空、陸送の全ての輸送モード拠点(ターミナル)が半径5km圏内に集積

**■内航海運定期航路**

フィーダーコンテナ航路

航路	船社	便数/週	
博多→門司→神戸→京浜→神戸→博多	井本商運	1便	ながら
博多→酒田→新潟→門司→博多	鈴与海運	1便	みわ
博多→神戸→博多		2便	ゆうあ

**内貿コンテナ・フェリー等航路**

区分	航路	船社	便数	船名
東京	月・水・金 博多→岩国・松山→東京	日本海運	6便/週 (月~土)	ひまわり5 他
	火・木・土 博多→大分→東京→御前崎	商船三井フェリー		さんふらわあとうきょう 他
	敦賀	博多→敦賀	近海郵船	3便/週
那覇	博多→那覇	琉球海運	6便/週	ちゆらしま 他
		南日本汽船	6便/週	うりずん 他
		丸三海運	3便/週	なは2 他
壱岐・対馬	博多→壱岐→厳原	九州郵船	3便/日	フェリーきずな 他
対馬	博多→比田勝	九州郵船	1便/日	うみでらし
五島	博多→五島	野母商船	1便/日	太古

# 躍進する国際コンテナターミナル

## CNP形成に寄与する環境に配慮した高効率のコンテナターミナル

Environmentally Friendly and Highly Efficient Container Terminal Contributing to the Formation of a Carbon Neutral Port

### アイランドシティ [Island City] 香椎パークポート [Kashii Park Port]



## コンテナターミナルにおける先進的な取り組み

Advanced Approaches at Container Terminals

### 博多港物流 IT システム (HiTS ver.3)

博多港では、WEB サイトを利用し、輸出入コンテナのステイタス（行政手続きの進捗状況や貨物の位置情報等）の確認や、物流関係者間における作業情報の指示・伝達など、物流の効率化・迅速化に必要な情報をリアルタイムに把握できるサービスを提供しています。

これにより、コンテナターミナルの周辺や受付ゲートでの渋滞の解消、電子データ交換によるペーパーレス化、二重入力や入力ミスの抑制など幅広く港湾利用者の物流業務効率化につながっています。

### Hakata Port Logistics IT System (HiTS Ver. 3)

Hakata Port offers a service to provide the real-time information through the website, contributing to the efficient and speedy logistics business. The information includes the status of import/export containers such as the progress of administrative procedures and the cargo location, and instructions and operational information shared among logistics-related parties.

The system has widely improved efficiency of the logistics operation by port users, eliminating congestion at container terminal gates, reducing the number of papers by use of electronic data and preventing mistakes such as double-inputting and inaccurate inputting of data.



## 高水準のエコシステム導入

博多港では、これまでトランスファークレーンの全面電動化やハイブリッドストラドルキャリアの導入などの取組みを進めており、令和7年9月には、国土交通省の「CNP 認証 (コンテナターミナル)」制度において、アイランドシティコンテナターミナルが最高評価レベル5+を獲得しました。

今後は同認証も活用しながら、コンテナターミナルの脱炭素化に向けて更に取組みを進め、博多港におけるカーボンニュートラルポート (CNP) の形成を促進します。



### トランスファークレーンの電動化 RTG Electrification

電動化により、従来機と比較してCO<sub>2</sub> 排出量を約 74% 削減。

The RTG electrification reduces CO<sub>2</sub> emissions by approximately 74% compared to the traditional cranes.



### ハイブリッドストラドルキャリア Hybrid Straddle Carrier

ハイブリッドストラドルキャリアとは、コンテナを下ろす際や車両が減速する際に発生する余剰電力をリチウムイオン蓄電池に充電し、電力が必要な時にその電力を再利用するストラドルキャリアです。

Hybrid straddle carriers charge into lithium-ion batteries with excess power generated when unloading containers or when the vehicle slows down, and reuse the charged power when it needed.

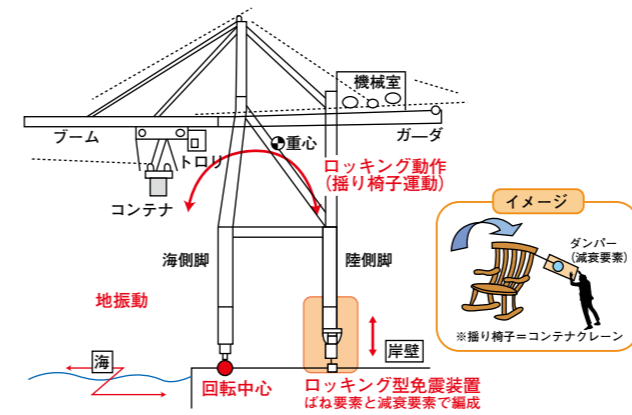
## 災害時における事業継続対応

博多港では地震などの災害時や停電時においても物流を止めないように、コンテナターミナルの機能を維持するための取組みを進めています。主な取組みは、ガントリークレーンの免震化や停電時におけるリーファーコンテナ及びターミナルシステムの電力確保などです。

### ■免震ガントリークレーン

Anti-Seismic Gantry Cranes

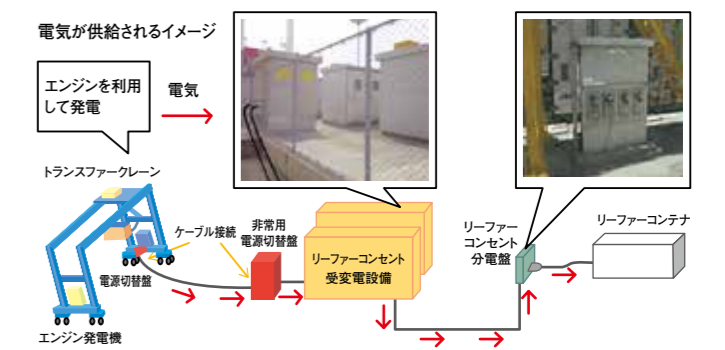
免震型ガントリークレーン (2基: 積層ゴム水平式・1基: ロッキング式) の導入に加え、既存のクレーンに免震機能 (1基: ロッキング式) を追加し、現在は4基の免震クレーンがアイランドシティコンテナターミナルに設置されています。これにより、地震によるクレーンの脱輪や脚の浮き上がりを防止し、地震後の早期再稼働が可能となります。



### ■停電時におけるコンテナターミナルの電力確保

Securing Electricity at Container Terminals in Times of Electric Power Failure

一旦、長時間の停電が発生すると、ターミナルシステムがダウンして貨物の搬出入に混乱が生じ、さらに大量に保管されている冷凍・冷蔵貨物も多大な損害を被ることとなります。そこで、停電時にはトランスファークレーンやストラドルキャリアなどの荷役機器に搭載しているディーゼルエンジンを利用して、ターミナル内の受変電所に電力を直接供給できる仕組みを確立させました。



博多港では、災害にも強く安全・安心なコンテナターミナル運営を目指した様々な取組みを進めています。

Hakata Port has been promoting various initiatives aimed at operating a safe, secure and disaster resistant container terminal.

# たくさんの方が行き交う 海の玄関口

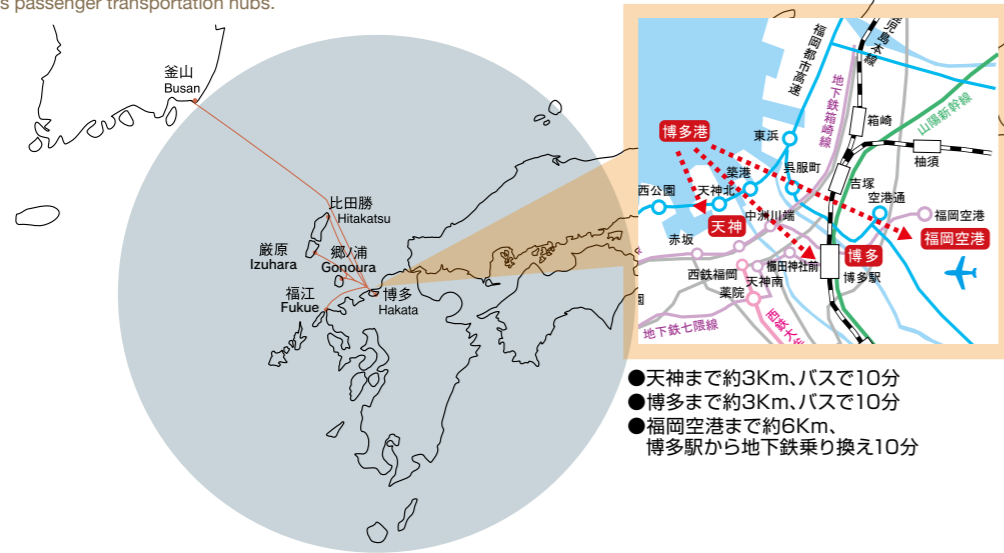
Gateway to the Sea Where Many People Passing Through

博多港は年間約211万人の人々が行き交う海の玄関です。なかでも博多ふ頭と中央ふ頭は、ともに都心部に位置し、旅客輸送の拠点となっています。

The Port of Hakata is the gateway to the sea, with 2,110,000 people passing through it annually. In particular, Hakata Wharf and Chuo Wharf are located in the heart of the city and serve as passenger transportation hubs.



■ニューかめりあ



- 天神まで約3Km、バスで10分
- 博多まで約3Km、バスで10分
- 福岡空港まで約6Km、博多駅から地下鉄乗り換え10分

## 【国際旅客航路】 International Passenger Route 博多港発着の国際旅客定期航路

福岡と釜山間の航路は、日本及び韓国における文化・経済交流の重要な役割を果たす航路です。令和6年の外国航路船舶乗降人員数は年間120万人で、港の賑わいが戻ってきています。

The sea route between Busan and Fukuoka has played an important role in cultural and economic exchanges of Korea and Japan. It handled approximately 1,200,000 international passengers in 2024, and the port is regaining its vibrancy.

### ●フェリー

航路	船名	ターミナル	船	便数	所要時間	運航者
友情の海の路(釜山航路)	ニューかめりあ	博多港国際ターミナル(中央ふ頭)	釜山港	週6便	約5時間30分	カメラライン

※季節等により運航内容が変更される場合があります。

## 国内外からさまざまなクルーズ船が寄港

博多港には「飛鳥Ⅱ」「飛鳥Ⅲ」「三井オーシャンフジ」といった日本船社のクルーズ船に加え、外国船社のクルーズ船も多数寄港しており、日本を代表するクルーズ拠点港となっています。

### Various Cruise Ships Calling from Domestic and Foreign Ports

The Port of Hakata is one of Japan's foremost cruise hubs, welcoming leading cruise ships operated by Japanese cruise lines such as ASUKA II, ASUKA III, and MITSUI OCEAN FUJI, along with many foreign-operated cruise ships.

- 博多港へ入港したクルーズ船  
左：飛鳥Ⅲ (52,265トン)  
右：シルバー・ノヴァ (54,700トン)

Cruise ships calling at Hakata  
Left: ASUKA III (52,265t)  
Right: SILVER NOVA (54,700t)



## 【国内旅客航路】 Domestic Passenger Ferry Routes 観光やリゾートへのアクセスポイント

国内航路は、年間約91万人が利用。博多ふ頭旅客ターミナルから壱岐・対馬航路や五島航路が就航しています。

### Access Spot for Sightseeing and Resorts

Some 910,000 passengers utilize the domestic passenger ferries annually. Ferry services bound for Iki, Tsushima and Goto islands are provided at the passenger terminal of Hakata Wharf.

### ■博多港発着の国内航路・市営渡船など

航路	船名	ターミナル	船	便数	所要時間	運航者
壱岐・対馬航路	フェリーちくしフェリーきずな 他	博多ふ頭第2ターミナル	霧ノ浦 他・殿原	日3便	4時間40分	九州郵船
壱岐・対馬航路	ヴィーナス 他	ベイサイドプレイス博多	霧ノ浦 他・殿原	日4便	2時間15分	九州郵船
対馬航路	うみでらし	博多ふ頭第2ターミナル	比田勝	日1便	4時間55分	九州郵船
五島航路	太古	博多ふ頭第2ターミナル	福江	日1便	8時間30分	野母渡船



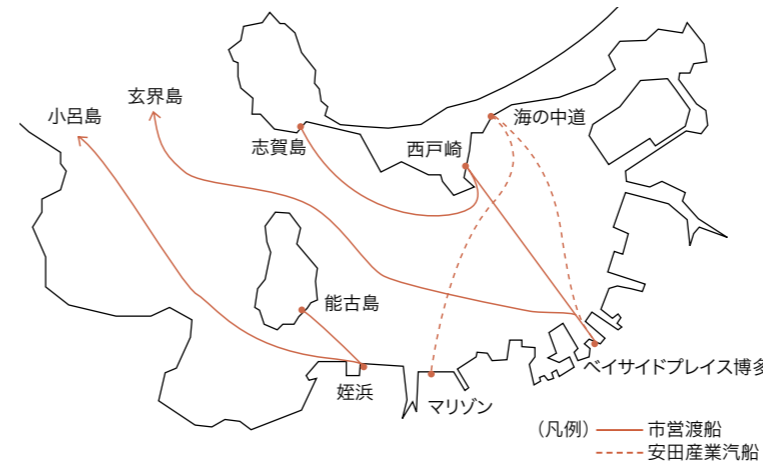
■ヴィーナス2 (壱岐・対馬航路) 提供：九州郵船  
Venus 2 (Iki and Tsushima Island Route)



■太古 (五島航路)  
Taiko (Goto Island Route)

航路	船名	ターミナル	船	便数	所要時間	運航者
志賀島航路	きんいん1 他	ベイサイドプレイス博多	西戸崎・志賀島	日15便	30分	福岡市(市営渡船)
玄界島航路	みどり丸	ベイサイドプレイス博多	玄界島	日7便	35分	福岡市(市営渡船)
海中ライン	マリソライナー 他	ベイサイドプレイス博多	海の中道	日4~10便	20分	安田産業汽船
海中ライン	マリソライナー 他	マリゾン	海の中道	日4~19便	20分	安田産業汽船
能古航路	フラワーのこ 他	姪浜	能古島	日21~23便	10分	福岡市(市営渡船)
小呂島航路	ニューおろしま	姪浜	小呂島	日1~2便	65分	福岡市(市営渡船)

※季節等により運航内容が変更される場合があります。



## 【市営渡船】 Fukuoka Municipal Ferry Service 市民生活を支える～生活航路～

ベイサイドプレイス博多からは、志賀島、玄界島へ、姪浜からは能古島、小呂島への市営渡船が毎日就航し、市民の通勤などの交通手段として利用されており、地域観光の促進にも貢献しています。

Fukuoka Municipal Ferries run daily from Hakata Bayside Place to Shikanoshima Island and Genkaijima Island while the ferries from Meinohama run to Nokonoshima Island and Oronoshima Island, serving as commuters of transportation and contributing to the promotion of local tourism.

## 船と博多湾の魅力を活かす ～博多湾内観光航路～

博多湾内観光航路は、貸切船で、博多湾内を周遊する航路となっています。ツアーやイベント等にも幅広く利用され、市街地や博多湾の風景を、船上から楽しむことができます。

Utilizing the Attractiveness of Ferries and the Port "Sightseeing Route within Hakata Bay"  
The Hakata Bay Sightseeing Route is a chartered ferry service that circles Hakata Bay. The route is widely used for tours and events, and allows passengers to enjoy the scenery of the city and Hakata Bay from the ship.



■フラワーのこ (能古航路)  
Flower Noko (Nokonoshima Route)



■きんいん1 (志賀島航路)  
Kinin1 (Shikanoshima Route)



■みどり丸 (玄界島航路)  
Midori Maru (Genkaijima Route)



■ニューおろしま (小呂島航路)  
New Oroshima (Oronoshima Route)



■ゆうなみ (共通予備船)  
Yunami (substitute vessel in common use)

# データで知る博多港のいま

## 博多港の港勢

Status of Hakata Port

※ 最新年の数値は速報値のため、今後変動する可能性があります。  
 ※ 各項目の数値は四捨五入しているため、内数の合計と総数が合わない場合があります。



## I. 博多港の港勢

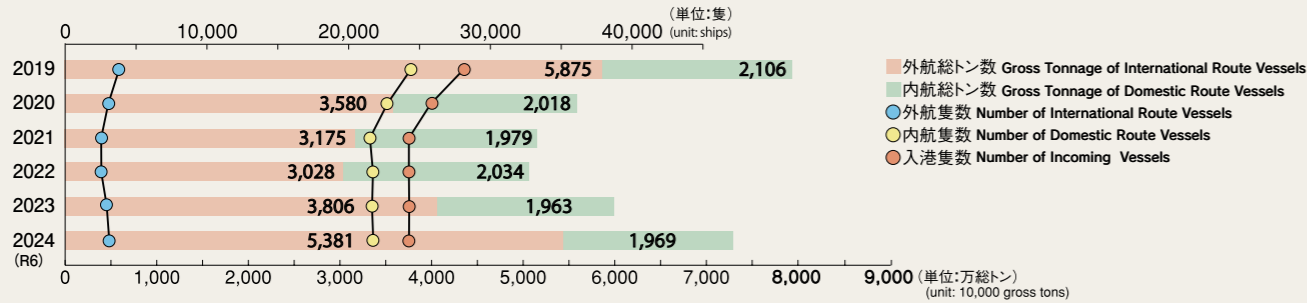
令和6年に博多港に入港した船舶は、外航・内航あわせて24,484隻、約7,350万総トン。海上出入貨物は約3,212万トン（前年比99.1%）、国際海上コンテナ取扱個数は約88万TEU（前年比96.9%）となっています。

### Port Performance

Domestic and foreign vessels calling at Hakata Port in 2024 numbered 24,484 or about 73.50 million gross tons. The freight via the port was about 32.12million tons (99.1% from the previous year). The number of international seaborne containers was some 880,000TEUs (96.9% from the previous year).

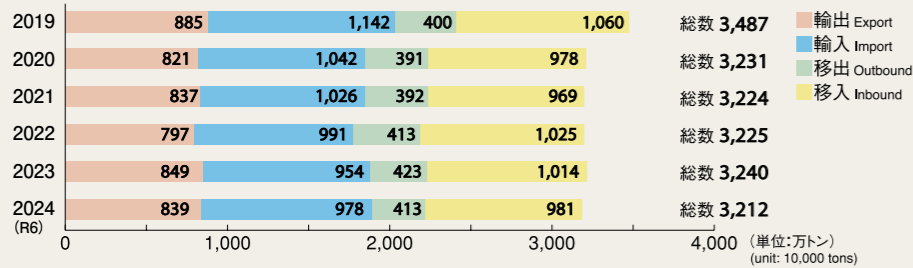
#### I-1 入港船舶の推移

Changes in Number of Incoming Vessels



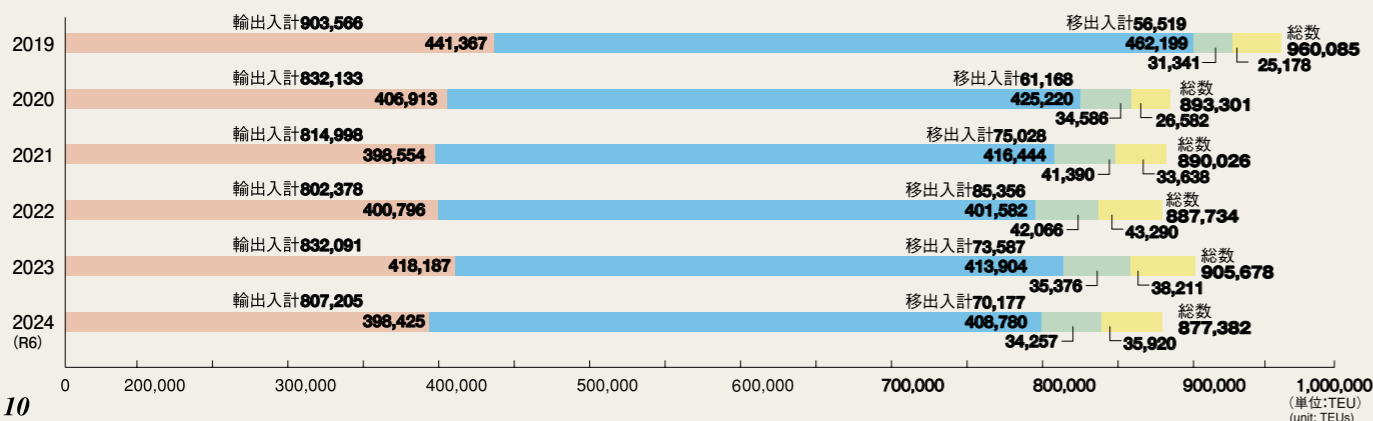
#### I-2 海上出入貨物量の推移

Changes in Seaborne Cargoes



#### I-3 国際海上コンテナ取扱個数の推移

Changes in Number of International Seaborne Containers



## II. 外国貿易

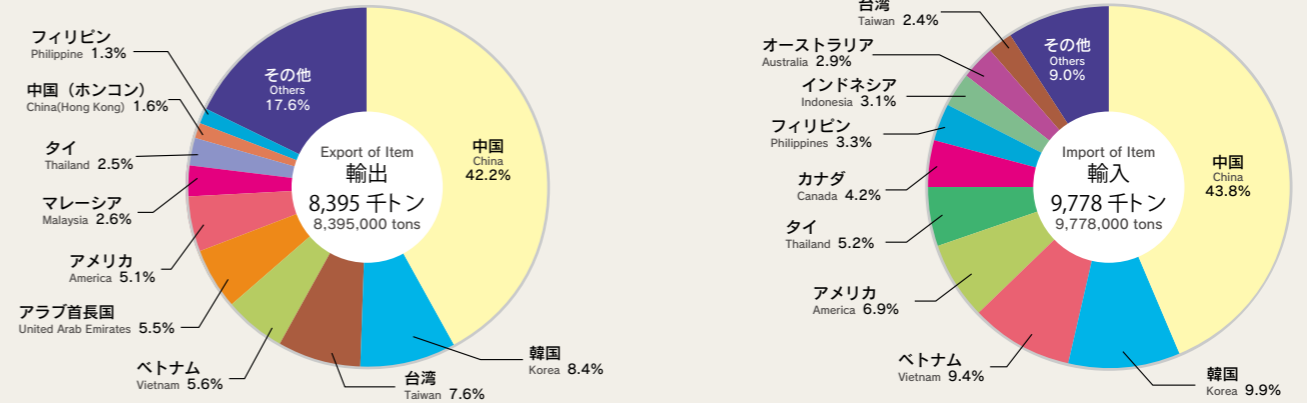
令和6年の外国貿易は18,173千トンで、内訳は輸出が46.2%、輸入が53.8%となっています。輸出では工業製品や再利用資材、輸入では背後圏で消費される生活関連物資が大半を占めています。

### Foreign Trade

Foreign trade volume in 2024 totaled 18.17 million tons, of which exports and imports accounted for 46.2% and 53.8% respectively. Most imports are daily necessities consumed in neighboring areas. Industrial products and recycled materials accounted for the majority of exports.

#### II-1 輸出入(相手国・地域別)

Foreign Trade (Export and Import by Country and Region)



#### II-2 主要取扱品種

Export / Import by Item (単位: 千トン)

品名	数量 (Volume)	主な輸出相手国 (Major Export Counterparts)
完成自動車 (Automobiles)	4,394	中国 (China), アラブ首長国 (United Arab Emirates), 韓国 (Korea)
ゴム製品 (Rubber products)	803	アメリカ (America), アラブ首長国 (United Arab Emirates), サウジアラビア (Saudi Arabia)
産業機械 (Industrial machinery)	399	台湾 (Taiwan), ベトナム (Vietnam), 中国 (China)
再利用資材 (Recycled materials)	396	ベトナム (Vietnam), 台湾 (Taiwan), 韓国 (Korea)
自動車部品 (Auto parts)	310	アラブ首長国 (United Arab Emirates), マレーシア (Malaysia), アメリカ (America)

輸入 (Import by Item) (単位: 千トン)

品名	数量 (Volume)	主な輸入相手国 (Major Import Counterparts)
家具装備品 (Furniture)	1,341	中国 (China), ベトナム (Vietnam), タイ (Thailand)
衣服・見習品・はきもの (Clothes, personal belongings and shoes)	745	中国 (China), ベトナム (Vietnam), 台湾 (Taiwan)
電気機械 (Electric machinery)	608	中国 (China), タイ (Thailand), ベトナム (Vietnam)
動植物性製造飼肥料 (Organic Fertilizer)	551	韓国 (Korea), アメリカ (America), オーストラリア (Australia)
野菜・果物 (Vegetables, Fruit)	543	フィリピン (Philippines), 中国 (China), 韓国 (Korea)

## III. 内国貿易

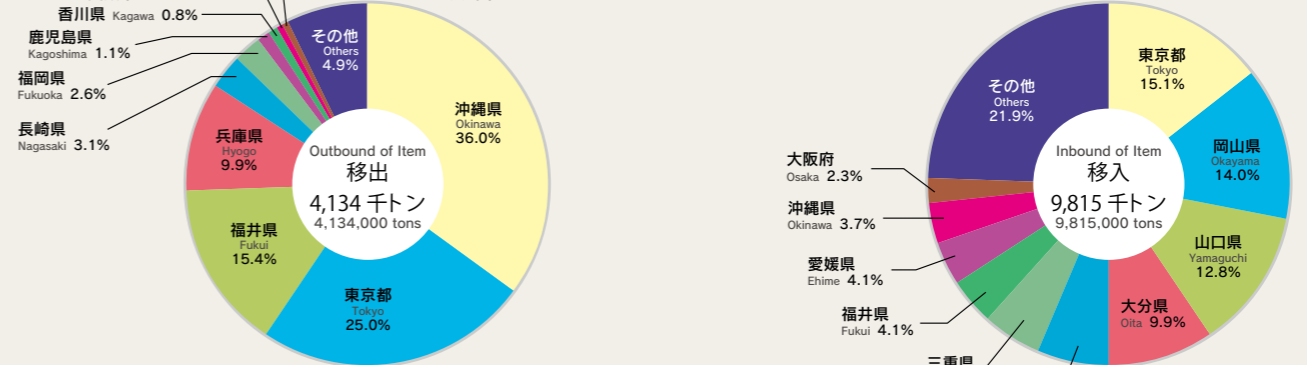
令和6年の内国貿易は13,948千トンで、その70.4%を移入が占めています。

### Domestic Trade

The 2024 domestic trade volume of Hakata Port was 13.95 million tons, of which inbound cargo accounted for 70.4%.

#### III-1 移出入(仕出・仕向都道府県別)

Outbound / Inbound Trade by Prefecture



#### III-2 主要取扱品種

Outbound / Inbound Trade by Item (単位: 千トン)

品名	数量 (Volume)	主な仕出都道府県 (Major Outbound Prefectures)
その他輸送機械 (Other transportation machinery)	744	福井県 (Fukui), 東京都 (Tokyo), 兵庫県 (Hyogo)
取合せ品 (Mixed lots)	699	沖縄県 (Okinawa), 東京都 (Tokyo), 兵庫県 (Hyogo)
完成自動車 (Automobiles)	571	東京都 (Tokyo), 沖縄県 (Okinawa), 福井県 (Fukui)
製造食品 (Processed food)	227	沖縄県 (Okinawa), 兵庫県 (Hyogo), 長崎県 (Nagasaki)
飲料 (Beverage)	189	沖縄県 (Okinawa), 長崎県 (Nagasaki), 兵庫県 (Hyogo)

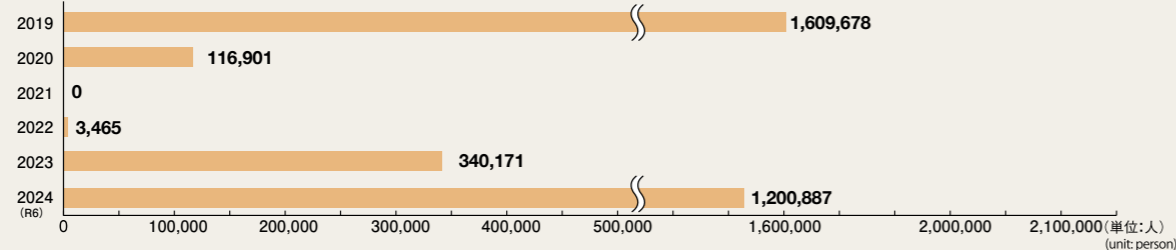
移入 (Inbound by Item) (単位: 千トン)

品名	数量 (Volume)	主な仕向都道府県 (Major Inbound Prefectures)
その他の石油 (Other petroleum)	1,833	岡山県 (Okayama), 大分県 (Oita), 山口県 (Yamaguchi)
砂利・砂 (Gravel and sand)	1,630	海上採取 (Offshore), 長崎県 (Nagasaki), 大分県 (Oita)
揮発油 (Volatile oil)	1,530	岡山県 (Okayama), 山口県 (Yamaguchi), 大分県 (Oita)
完成自動車 (Automobiles)	1,322	東京都 (Tokyo), 三重県 (Mie), 沖縄県 (Okinawa)
セメント (Cement)	475	山口県 (Yamaguchi), 福岡県 (Fukuoka), 福井県 (Fukui)

## IV. 船舶乗降人員 Ship Passengers

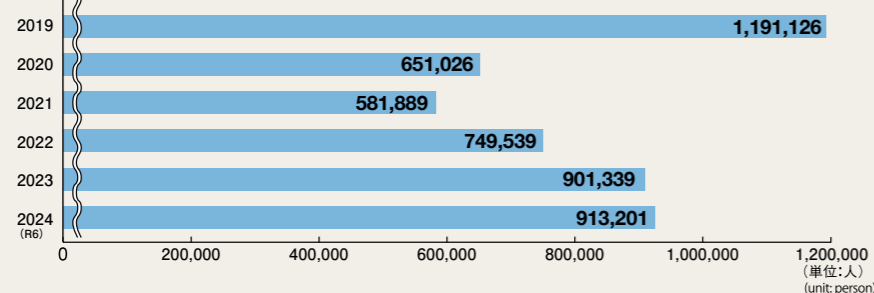
### IV-1 外航推移

Changes in Number of International Passengers



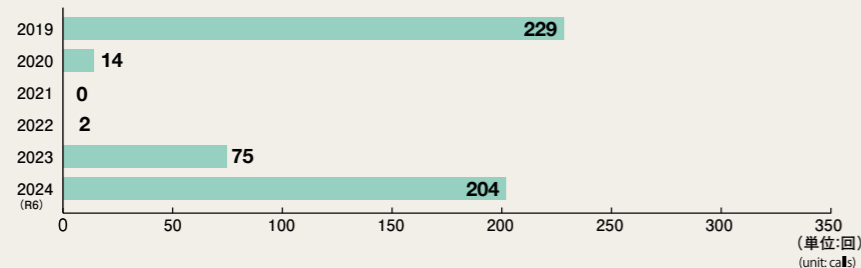
### IV-2 内航推移

Changes in Number of Domestic Passengers



## V. クルーズ船寄港回数 Cruise Ship Calls

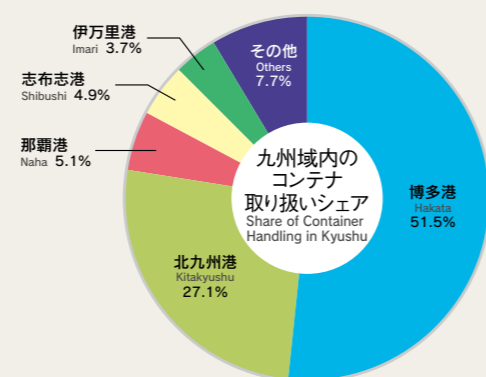
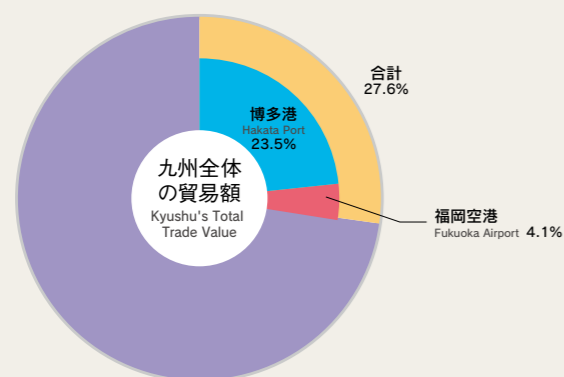
Cruise Ship Calls



## VI. 経済活動と博多港

博多港と福岡空港を合わせた貿易額は6兆円を超え、九州全体の3割弱を占めます。

また、九州域内で取り扱われている外資コンテナ貨物の約5割が、博多港を利用しており、博多港が九州の経済を支えていることが分かります。



### Economic effect of Hakata Port

The combined trade volume of the Port of Hakata and Fukuoka Airport exceeds 6 trillion yen, accounting for approximately 30% of Kyushu's total trade. In addition, approximately 50% of the foreign container cargo handled within the Kyushu uses the Port of Hakata, indicating that the Port supports the Kyushu economy.

## ふ頭案内

Portraits of Wharves

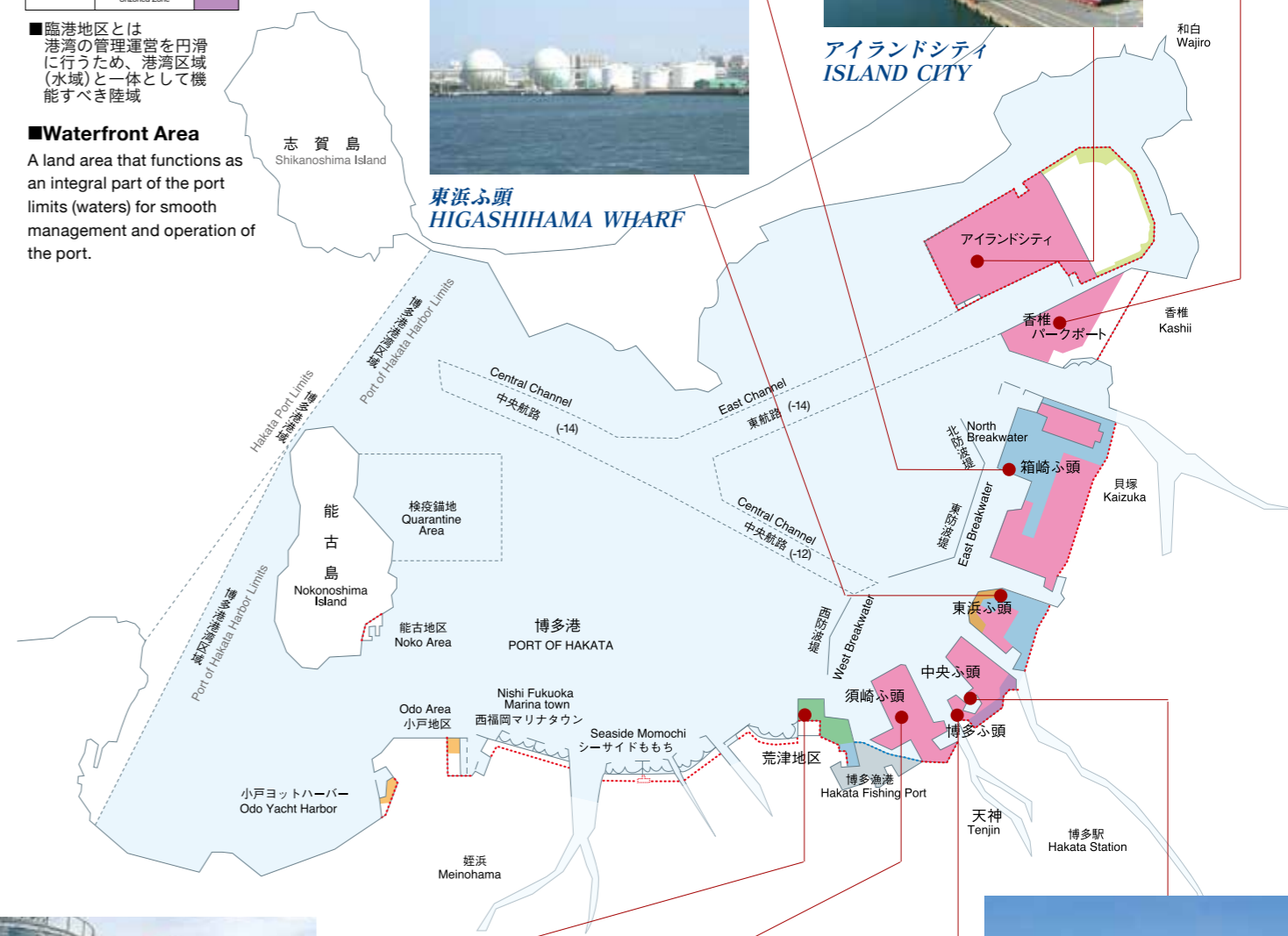
- 凡例 Legend
- 港湾計画区域(陸域) Areas Planned for Port & Harbor Facilities
- 博多漁港区域 Hakata Fishing Port Area

臨港地区 Waterfront Area (828.9ha)	商港区 Commercial Zone	593.1ha
	工業港区 Industrial Zone	162.2ha
	保安港区 Hazardous Material Zone	28.2ha
	修景厚生港区 Scenic and Recreation Zone	20.2ha
	特殊物資港区 Special Material Zone	9.0ha
	マリーナ港区 Marina Zone	6.0ha
無分区 Unzoned Zone	10.2ha	

■臨港地区とは  
港湾の管理運営を円滑  
に行うため、港湾区域  
(水域)と一体として機  
能すべき陸域

### ■Waterfront Area

A land area that functions as an integral part of the port limits (waters) for smooth management and operation of the port.



荒津地区  
ARATSU AREA



須崎ふ頭  
SUZAKI WHARF



博多ふ頭  
HAKATA WHARF



中央ふ頭  
CHUO WHARF



箱崎ふ頭  
HAKOZAKI WHARF




東浜ふ頭  
HIGASHIHAMA WHARF



香椎パークポート  
KASHII PARK PORT



アイランドシティ  
ISLAND CITY



## アイランドシティ

■ふ頭概況

面積 206.8ha (みなとづくりエリア)  
(平成6年~埋立中)

利用状況

- 取扱貨物量 約1,039万トン
- 主な取扱貨物
  - 家具・装飾品、ゴム製品、完成自動車、自動車部品、衣服・見本品・はきもの

■港湾施設(公共)

[岸壁] 給水設備 23カ所  
[上屋] 外資コンテナ上屋 1棟 2,304m<sup>2</sup>

[荷役機械]

コンテナクレーン 6基  
トランスファークレーン 26基  
野積場 672,853m<sup>2</sup>

[Island City]

■ Outline

Area: 206.8ha (Port Development Area)  
(Reclaimed in 1994~)


Cargo handling volume: Approx.10.39 million tons

Major items handled:

Furniture, rubber products, Automobiles, auto parts and clothes/personal belongings and shoes

■ Port and Harbor facilities (Public)

[Berth] 23 Water supply facilities  
[Shed] 1 Foreign trade container shed: 2,304 m<sup>2</sup>  
[Cargo Handling Equipment] 6 Container cranes  
26 Transfer cranes  
[Others] Open storage yard: 672,853m<sup>2</sup>



## 香椎パークポート

■ふ頭概況

面積 92.3ha (昭和62年~平成10年埋立)

利用状況

- 取扱貨物量 約900万トン
- 主な取扱貨物
  - 完成自動車、取合せ品、動植物性製造飼料、製造食品、その他日用品、

■港湾施設(公共)

[岸壁] 給水設備 23カ所  
[上屋] 内資コンテナ上屋 1棟 4,001m<sup>2</sup>

[荷役機械]

コンテナクレーン 4基  
ストラドルキャリア 17台  
野積場 372,717m<sup>2</sup>

[Kashii Park Port]

■ Outline

Area: 92.3ha (Reclaimed in 1987~1998)

Cargo handling volume: Approx.9.00 million tons

Major items handled:

Automobiles, mixed lots, animal/plant feed and fertilizer, processed food, other daily necessities

■ Port and Harbor facilities (Public)

[Berth] 23 Water supply facilities  
[Shed] 1 Foreign trade container shed: 4,001m<sup>2</sup>  
[Cargo Handling Equipment] 4 Container cranes  
17 Straddle carriers  
[Others] Open storage yard: 372,717m<sup>2</sup>

# 最新鋭の国際物流拠点

Advanced Approaches at Container Terminals

平成15年に供用を開始したアイランドシティコンテナターミナルは、大型コンテナ船が接岸できる水深14m・15mの岸壁を整備し、6基のコンテナクレーンとCO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減したトランスファークレーンを用い、博多港のコンテナ取扱量の約7割を取り扱っています。背後地には、青果市場や物流倉庫群を控え、国際物流の拠点形成を目指しています。

Opened in 2003, Island City Container Terminal is equipped with 14m and 15m-deep berths to allow large container vessels, and handles 70% of all containers at Hakata Port by use of six gantry cranes and RTGs that can drastically reduce CO<sub>2</sub> emissions. There is a fruit and vegetable market and a group of logistics warehouses in the hinterland, aiming to form a base for international logistics.

## コンテナターミナル

博多港の国際海上コンテナ貨物の9割以上を扱うアイランドシティコンテナターミナルと香椎パークポートコンテナターミナル。両ターミナルは、ITを駆使したシステムで一元的に管理運営されています。

平成23年3月の港湾法改正に伴い新たに創設された「港湾運営会社制度」を平成26年4月から導入し、民間活力を活かした港湾運営の更なる効率化や、より利用者のニーズに沿った使いやすしい港づくりを推進しています。

Container terminal at Island City and Kashii Park Port handle 90% of international marine containers at the Port of Hakata. Both terminals are integrally managed via the IT system. With the amendment of the Port and Harbor Act Implemented in March, 2011, Hakata Port introduced the national government's newly-established system, the Port Operating Company System in April, 2014. With the system, Hakata has been promoting further efficient port management by use of dynamic private companies and making the port more user-friendly and respond to the needs of users.

# コンテナや完成自動車を扱う 緑あふれるふ頭

Verdant Wharf Handling Containers and Automobiles

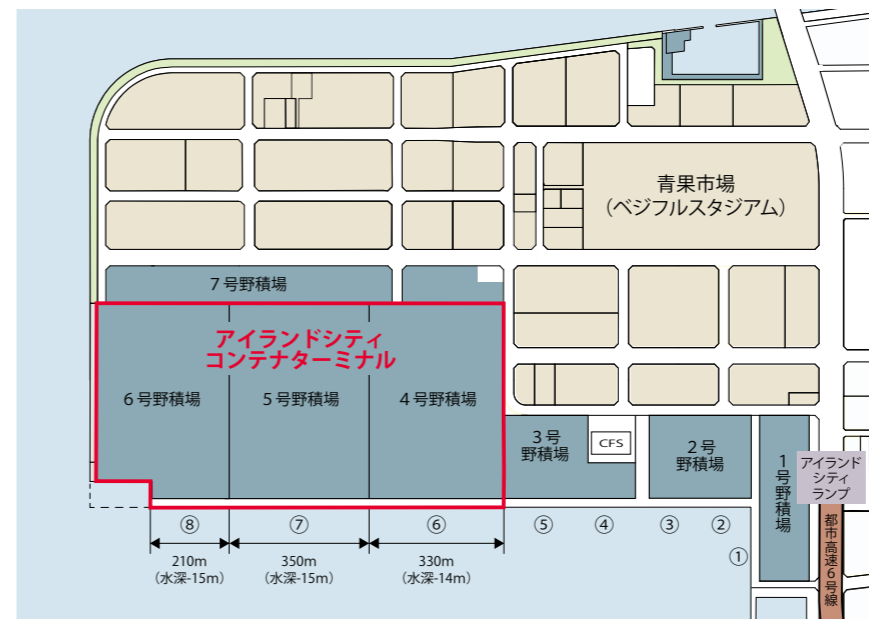
平成6年に供用を開始した香椎パークポートコンテナターミナルは、大型コンテナ船に対応した水深13mの岸壁に4基のコンテナクレーンと機動力に長けたストラドルキャリアを備え、博多港のコンテナ取扱量の約3割を取り扱っています。

取扱貨物の一つに完成自動車があり、博多港から輸出される完成自動車の大半を扱っています。

エリア内には充実した港湾施設とともに、大規模な公園、緑地を有しており、良好な港湾環境を形成しています。

Opened in 1994, Kashii Park Port Container Terminals has a 13m-deep berth to allow large container vessels, which is equipped with four gantry cranes and highly maneuverable straddle carriers, and handles 30% of the container handling volume at the Port of Hakata's exports.

One of the main handling items is automobiles, which account for the majority of the Port of Hakata's exports. The area has large parks and green areas with extensive port facilities, forming a favorable port environment.



■アイランドシティ

## アイランドシティ コンテナターミナル

### ■施設概要

ターミナル総面積	約48.5ha
岸壁	全長 890m (3バース)
	水深 -14m (1バース) -15m (2バース)
コンテナクレーン	定格荷重 40.6 ton
	基数 6基
野積場	アウトリーチ 50m (コンテナ船18列対応)
	面積 6,960 TEU
冷蔵コンセント	ドライコンテナ グランドスロット 608 Plugs
	冷凍コンセント 608 Plugs
荷役方式	トランスファークレーン 26基 (※)
	給電設備 17箇所 BUS-BAR方式 約4,000m
ターミナルビル	鉄骨造2階建 (延床面積 850m <sup>2</sup> )
メンテナンスショップ	延床面積 1,203m <sup>2</sup>

※完全電動トランスファークレーン8基



### ■係留施設 Mooring Facility

#### アイランドシティ Island City

バース名称 Berth	水深 (m) Depth	バース数 No of Berth	延長 (m) Berth Length
①~④ 1~4号岸壁 No. 1~4	-7.5	4	520
⑤ 5号岸壁 No. 5	-11.0	1	190
⑥ 6号岸壁 No. 6	-14.0	1	330
⑦~⑧ 7~8号岸壁 No. 7~8	-15.0	2	560

#### 香椎パークポート Kashii Park Port

バース名称 Berth	水深 (m) Depth	バース数 No of Berth	延長 (m) Berth Length
①~③ 1~3号岸壁 No. 1~3	-7.5	3	390
④~⑤ 4~5号岸壁 No. 4~5	-13.0	2	600
⑥ 6号岸壁 No. 6	-11.0	1	190
⑦~⑨ 7~9号岸壁 No. 7~9	-7.5	3	390

## 香椎パークポート コンテナターミナル

### ■施設概要

ターミナル総面積	約20.9ha
岸壁	全長 600m (2バース)
	水深 -13m
コンテナクレーン	定格荷重 40.6 ton
	基数 4基
野積場	アウトリーチ 44m (コンテナ船16列対応 2基) 47m (コンテナ船17列対応 2基)
	面積 2,671 TEU
冷蔵コンセント	ドライコンテナ グランドスロット 300 Plugs
	冷凍コンセント 300 Plugs
荷役方式	ストラドルキャリア 17台
	鉄筋コンクリート造4階建 (延床面積 4,996m <sup>2</sup> )
ターミナルビル	鉄筋コンクリート造4階建 (延床面積 4,996m <sup>2</sup> )
メンテナンスショップ	延床面積 1,193m <sup>2</sup>



■香椎パークポート



## 箱崎ふ頭

### ■ふ頭概況

面積 263.5ha (昭和44年～平成15年埋立)

利用状況  
 ・取扱貨物量 約493万トン  
 ・主な取扱貨物 完成自動車、その他輸送機械、取合せ品、その他農産品、米

### ■港湾施設 (公共)

[岸壁] 給水設備 19カ所  
 [上屋] 青果上屋 2棟 11,224m<sup>2</sup>  
 RORO ターミナル上屋 1棟 1,500m<sup>2</sup>

### [荷役機械]

ニューマチックアンローダ 1 (400t/h)  
 機械式アンローダ 1 (400t/h)

野積場 371,257m<sup>2</sup>  
 立体車両野積場 1棟  
 水面貯木場 74,104m<sup>2</sup>

### [Hakozaki Wharf]

#### ■ Outline

Area: 263.5ha (Reclaimed in 1969–2003)

Cargo handling volume: Approx. 4.93 million tons

Major items handled: Automobiles, other transportation machinery, mixed lots, other agricultural products and rice

#### ■ Port & Harbor Facilities (Public)

[Berth] 19 Water supply facilities

[Shed] 2 Fruit & vegetable sheds: 11,224m<sup>2</sup>  
 1 Ro/ro cargo shed: 1,500m<sup>2</sup>

#### [Cargo Handling Equipment]

1 Pneumatic unloader: 400t/h  
 1 Mechanical unloader: 400t/h

#### [Others]

Open storage yard: 371,257m<sup>2</sup>  
 1 Multistorey automobile storage facility  
 Timber pond: 74,104m<sup>2</sup>

# 様々な港湾関連施設を配置した博多港最大のふ頭

The Largest Wharf at Hakata Port with Various Port-Related Facilities

## 陸上の高速交通体系に直結アクセス

穀物や青果などの食品、自動車など実に様々な貨物が集まってきました。製粉工場をはじめとする食品工業団地や大規模な流通センターも整備されています。

また、都市高速道路のランプ2カ所がふ頭に直結し、九州自動車道や福岡空港へダイレクトにつながるほか、JR貨物福岡ターミナルが隣接し、ロスのない複合一貫輸送が可能です。

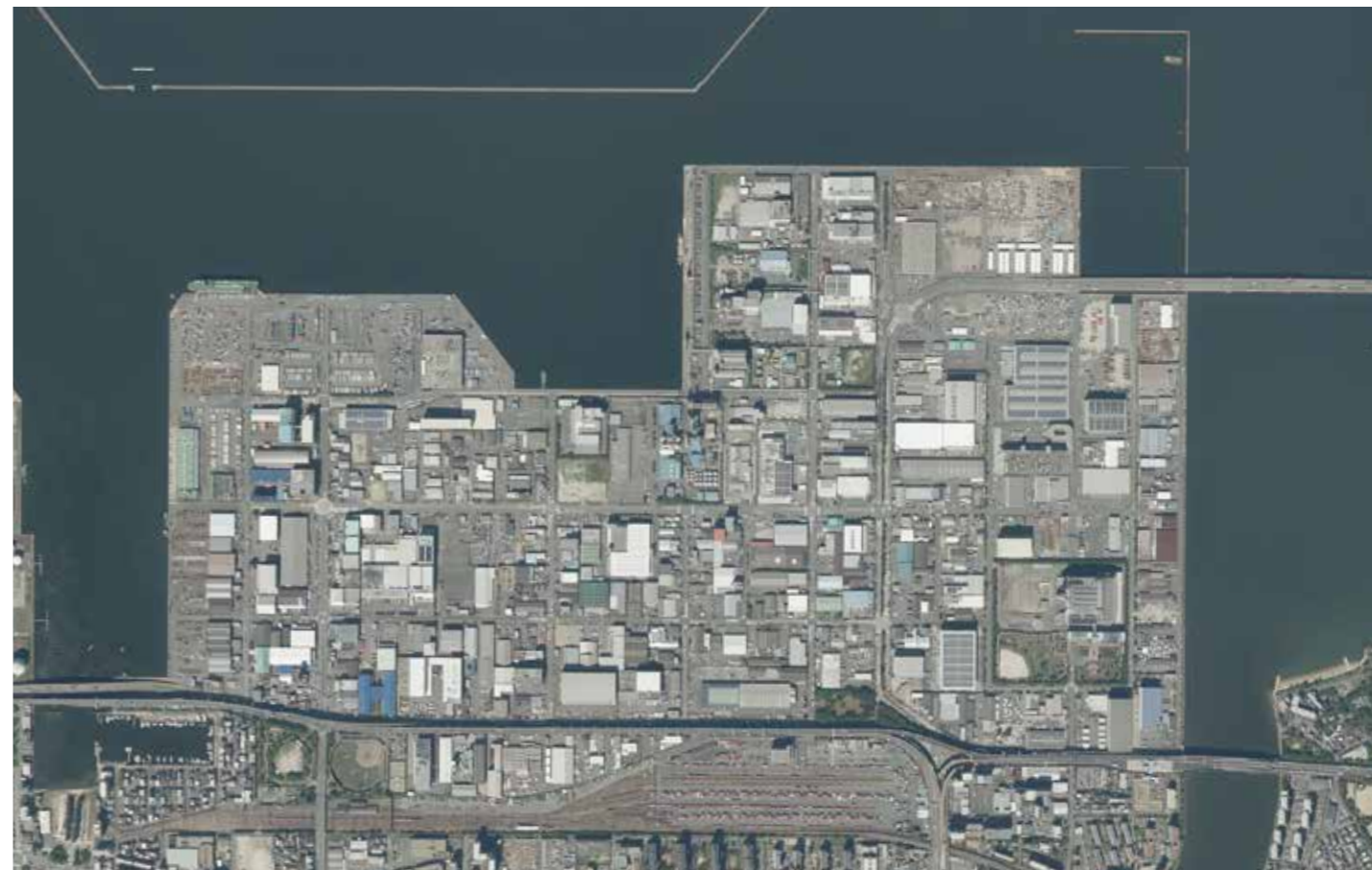
Handling a wide-range of cargoes including foods like grain, fruits and vegetables, and automobiles at the wharf. A food-industry related complex with flouring mills and large distribution centers have also established. Direct access to the Kyushu Expressway and Fukuoka Airport through two Fukuoka Urban Expressway exits leading to the wharf, as well as the adjacent Japan Railway's Fukuoka Freight Terminal, provide highly-efficient intermodal transport.



#### ■係留施設 Mooring Facility

バース名称 Berth	水深 (m) Depth	バース数 No. of Berth	延長 (m) Berth Length
①～③ 1～3号岸壁 No.1-3	-7.5	3	390
④ 4号岸壁 No.4	-10.0	1	185
⑤ 5号岸壁 No.5	-12.0	1	240
⑥～⑩ 6～10号岸壁 No.6-10	-7.5	5	650
⑪ 11号岸壁 No.11	-7.5	1	230
⑫～⑬ 12・13号岸壁 No.12&13	-12.0	2	480
⑮～⑯ 物専港岸壁 Berth for timber	-10.0	2	360
木材港ドルフィン Dolphin for timber	-10.0	1	280

■上・中(左) —東京定期航路のRORO船  
 Top & Middle(left): Ro/ro vessels on liner routes to Tokyo  
 ■中(右) —敦賀定期航路のRORO船  
 Middle(right): Ro/ro vessel on liner routes to Tsuruga  
 ■下 — RORO ターミナル上屋  
 Bottom: Ro/ro terminal shed



■穀物専用船  
 Grain carrier



■青果上屋  
 Fruit & vegetable shed



■立体車両野積場  
 Multistorey automobile storage facility



■輸出用建設機械  
 Construction machinery for export

## 中央ふ頭

**■ふ頭概況**  
 面積 48.7ha (昭和12年～平成7年埋立)  
 利用状況 取扱貨物量 約32万トン  
 ・主な取扱貨物  
 完成自動車、水、  
 動植物性製造飼料、自動車部品、  
 染料・塗料・合成樹脂・  
 その他化学工業品

**■港湾施設(公共)**  
 浮き桟橋(バース数) 2  
 [岸壁] 給水設備 34カ所  
 [上屋] 一般雑貨上屋 1棟 1,105m<sup>2</sup>  
 国際ターミナル 13,280m<sup>2</sup>  
 クルーズセンター 2,853m<sup>2</sup>  
 野積場 45,568m<sup>2</sup>

**[Chuo Wharf]**  
**■ Outline**  
 Area: 48.7ha (Reclaimed in 1937-1995)  
 Cargo handling volume: Approx. 0.32 million tons  
 Major items handled: Automobiles, water, animal / plant feed and fertilizer, auto parts, dyes, paints, synthetic resins, and other chemical products

**■ Port & Harbor Facilities (Public)**  
 [Pontoon] 2 Berths  
 [Berth] 34 Water supply facilities  
 [Shed] 1 General cargo sheds: 1,105m<sup>2</sup>  
 International terminal: 13,280m<sup>2</sup>  
 Cruise center: 2,853m<sup>2</sup>  
 [Others] Open storage yard: 45,568m<sup>2</sup>

## 博多ふ頭

**■ふ頭概況**  
 面積 4.9ha (昭和35年～49年埋立)  
 利用状況 取扱貨物量 約12万トン  
 ・主な取扱貨物  
 取合せ品、製造食品、飲料、  
 動植物性製造飼料、水

**■港湾施設(公共)**  
 浮き桟橋(バース) 5  
 ベイサイドプレイス博多  
 第1ターミナル 延5,790m<sup>2</sup>  
 利便施設 延3,360m<sup>2</sup>  
 第2ターミナル 延3,620m<sup>2</sup>  
 博多ポートタワー 高さ100m  
 博多港ベイサイドミュージアム 延328m<sup>2</sup>  
 交通広場 約1,400m<sup>2</sup>  
 サンセットパーク 約4,000m<sup>2</sup>  
 野積場 3,210m<sup>2</sup>

**[Hakata Wharf]**  
**■ Outline**  
 Area: 4.9ha (Reclaimed in 1960-1974)  
 Cargo handling volume: Approx. 0.12 million tons  
 Major items handled: Mixed lots, processed food, beverage, animal/plant feed and fertilizer and water

**■ Port & Harbor Facilities**  
 Pontoon: 5 Berths  
 Bayside Place HAKATA  
 Terminal 1: Total floor area: 5,790m<sup>2</sup>  
 Convenience Facilities: Total floor area: 3,360m<sup>2</sup>  
 Terminal 2: Total floor area: 3,620m<sup>2</sup>  
 Hakata Port Tower: Approx. 100m in height  
 Hakata Port Bayside Museum: Total floor area: 328m<sup>2</sup>  
 Transit Square: Approx. 1,400m<sup>2</sup>  
 Sunset Park: Approx. 4,000m<sup>2</sup>  
 Open storage yard: 3,210m<sup>2</sup>

# ウォーターフロントを活かした海の玄関口

## Gateway to the Sea Utilizing the Waterfront

中央ふ頭・博多ふ頭地区は、九州・アジアの海の玄関口として、多くの人々で賑わう海に開かれた集客交流拠点となっています。

福岡市ではこのような立地ポテンシャルなどを活かして、新たな都心拠点の形成に向けた取り組みを進めています。

The waterfront area at Chuo Wharf and Hakata Wharf has been developed as a sea gateway of Kyushu and Asia. The area is loved by many people to visit and meet each other. Fukuoka City is taking advantage of the desirability of the location to create a new city hub.

## 物流拠点・国際交流拠点機能の充実

中央ふ頭は、高度化倉庫などによる物流拠点であるとともに、国際会議場、展示場、ホールなど MICE 関連施設も集約しており、多くの国際会議等が開催されています。博多港国際ターミナルやクルーズセンターは、釜山港への旅客船やクルーズ船の利用者で賑わいを見せています。

## A Multifunctional Wharf with an International Terminal, a Cruise Center, Large Convention Facilities and Sophisticated Warehouses

Chuo Wharf functions as an advanced distribution hub with sophisticated warehouses and other facilities. MICE(Meetings, Incentives, Conferences and Exhibitions)-related facilities such as Fukuoka International Congress Center, exhibition centers, and halls are also concentrated, and many international conferences and other events are held here. Hakata Port International Terminal and Cruise Center are crowded with passengers for cruise ships and passenger ships to Busan.



■博多港国際ターミナル Hakata Port International Terminal

■中央ふ頭クルーズセンター Cruise Center

## にぎわいのある交流拠点の充実

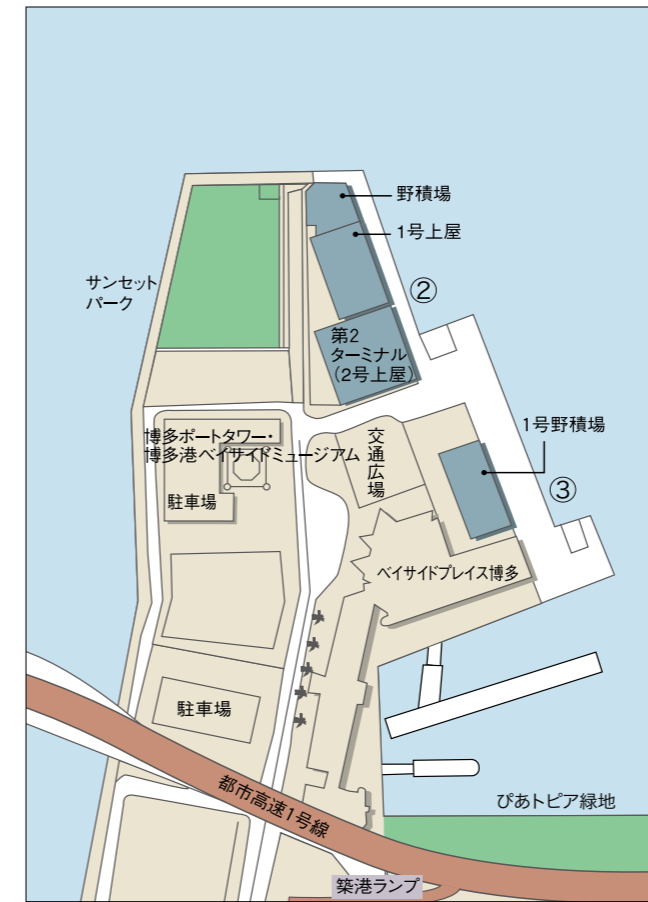
博多ふ頭は「博多ポートタワー」や「博多港ベイサイドミュージアム」、そして、旅客ターミナルと、海産物市場や飲食店等を併設した「ベイサイドプレイス博多」により、にぎわいのある交流拠点づくりが進められています。

## Enhancement of Vibrant Exchange Hub

Hakata wharf has been developed as a vibrant exchange hub including Hakata Port Tower, Hakata Port Bayside Museum, and Bayside Place HAKATA with a passenger terminal and restaurants.



■博多ポートタワーとベイサイドプレイス博多 Hakata Port Tower and Bayside Place HAKATA



■博多ふ頭



■中央ふ頭

■博多港(博多埠頭) Mooring Facility (Hakata Pier)			
バース名称 Berth	水深 (m) Depth	バース数 No. of Berth	延長 (m) Berth Length
② 2号岸壁 No.2	-5.5	1	105
③ 3号岸壁 No.3	-7.5	1	147

■博多港(中央埠頭) Mooring Facility (Chuo Wharf)			
バース名称 Berth	水深 (m) Depth	バース数 No. of Berth	延長 (m) Berth Length
③ 3号岸壁 No.3	-7.5	1	130
④ 4号岸壁 No.4	-9.0	1	220
⑤ 5号岸壁 No.5	-10.0	1	269
⑥ 6号岸壁 No.6	-10.5	1	330
⑦~⑧ 7~8号岸壁 No.7&8	-5.5	4	360
⑨~⑪ 9~11号岸壁 No.9~11	-7.5	3	390
⑫ 12号岸壁 No.12	-6.5	1	161

# 大規模な保管施設を備えた九州の穀物基地

## Kyushu Grain Base with Large Storage Facilities

主に海外から輸入した穀物を取り扱い、大規模な保管施設を備えています。1時間に400トンの穀物を吸い上げるニューマチックアンローダや大規模なサイロなど、最新の荷役機械、保管施設を備え、九州における重要な穀物流通基地として機能しています。

As food imports soar, Suzaki Wharf's function as an important grain distribution point in Kyushu is more important than ever.



### 須崎ふ頭

■ふ頭概況  
面積 79.1ha (昭和13年～53年埋立)  
利用状況  
・取扱貨物量 約117万トン  
・主な取扱貨物  
とうもろこし、麦、鋼材、豆類、石灰石

■港湾施設(公共)  
[岸壁] 給水施設 8  
[上屋] 一般雑貨上屋 14棟 / 35,944m<sup>2</sup>

[荷役機械]  
ニューマチックアンローダ 2 (400t/h)  
機械式アンローダ 1 (400t/h)  
荷捌き地 10,835m<sup>2</sup>  
野積場 15,421m<sup>2</sup>

[Suzaki Wharf]  
■ Outline  
Area: 79.1ha (Reclaimed in 1938-1978)  
Cargo handling volume: Approx. 1.17 million tons  
Major items handled: Corn, wheat, steel products, beans and wooden limestone

■ Port & Harbor Facilities  
[Berth] 8 Water supply facilities  
[Shed] 14 General cargo sheds: 35,944m<sup>2</sup>  
[Cargo Handling Equipment]  
2 Pneumatic unloaders: 400t/h  
1 Mechanical unloader: 400t/h  
Freight sorting yard: 10,835m<sup>2</sup>  
Open storage yard: 15,421m<sup>2</sup>



■穀物サイロ  
Grain silo

■係留施設 Mooring Facility

バース名称 Berth	水深 (m) Depth	バース数 No. of Berth	延長 (m) Berth Length
① 1号岸壁 No.1	-7.5	1	130
②~④ 2~4号岸壁 No.2~4	-12.0	2	553
⑤~⑥ 5~6号岸壁 No.5 & 6	-7.5	2	260
⑦~⑩ 7~10号岸壁 No.7~10	-5.5	5	450
長浜① 長浜1号岸壁 Nagahama No.1	-5.5	4	360
長浜② 長浜2号岸壁 Nagahama No.2	-5.5	4	360



### 東浜ふ頭

■ふ頭概況  
面積 75.1ha (昭和18年～平成6年埋立)  
利用状況  
・取扱貨物量 約284万トン  
・主な取扱貨物  
砂利・砂、セメント、  
その他の石油、揮発油、石灰石

■港湾施設  
給水施設 9  
野積場 94,916m<sup>2</sup>

[Higashi-Hama Wharf]  
■ Outline  
Area: 75.1ha (Reclaimed in 1943-1994)  
Cargo handling volume: Approx. 2.84 million tons  
Major items handled: Gravel, sand, cement, other petroleum, volatile oil and wooden limestone

■ Port & Harbor Facilities  
9 Water supply facilities  
Open storage yard: 94,916m<sup>2</sup>

# 建築資材やLPGを取り扱うふ頭

## Wharf Handling Construction Materials and LPG

砂、砂利、セメント、鉄鋼などの建築資材の荷捌き、保管施設が立地しているふ頭です。建築資材のほかLPG(液化石油ガス)などを取り扱っています。

Construction materials and LPG (liquefied petroleum gas) are handled at this facility.



■係留施設 Mooring Facility

バース名称 Berth	水深 (m) Depth	バース数 No. of Berth	延長 (m) Berth Length
① 1号岸壁 No.1	-4.5	3	200
② 2号岸壁 No.2	-5.5	1	80
③ 3号岸壁 No.3	-5.5	4	430
④ 4号岸壁 No.4	-7.5	3	390
⑤ 5号岸壁 No.5	-7.5	2	310



# 年間取扱量278万トンの石油基地

## Oil Terminal Handling 2.78 million tons per Year

昭和45年に竣工した105基の貯油施設のある石油中継基地です。年間278万トン(令和6年)の石油や重油等を取り扱い、都市圏をはじめ九州で消費される石油製品がこの石油中継基地から各地に届けられます。

Aratsu Area serves as a transit point for oil. The area handled 2.78 million tons of petroleum and heavy oil in 2024. Petroleum products consumed in the metropolitan area and Kyushu are distributed from here.



### 荒津地区

■地区概況  
面積 33.3ha (昭和13年～45年埋立)  
利用状況  
・取扱貨物量 約278万トン  
・主な取扱貨物  
揮発油、その他の石油、重油、  
その他の石油製品、LPG

■港湾施設  
栈橋(民間施設) 9

[Aratsu Area]  
■ Outline  
Area: 33.3ha (Reclaimed in 1938-1970)  
Cargo handling volume: Approx. 2.78 million tons  
Major items handled: Volatile oil, other petroleum, heavy oil, other petroleum products and LPG

■ Dedicated Mooring Facilities  
9 Landing bridges (private)



# 博多港のまちづくり

Town Planning of Hakata Port

## アイランドシティ

Island City

緑豊かな住環境の整備を進めるとともに、市総合体育館やこども病院、商業・宿泊施設などの多様な都市機能の誘導を図り、魅力ある都市づくりを進めています。

Developing a lush green living environment, as well as promoting the induction of various urban functions such as a Fukuoka City general gymnasium, a children's hospital, and a commercial complex with accommodations to create an attractive urban environment.



■照葉のまち



■福岡市総合体育館



■福岡市立こども病院

## シーサイドももち・マリゾン

Seaside Momochi and Marizon

福岡タワーや海浜公園の整備によって、市民が気軽に海に親しめる水際空間となっています。その他にも市の博物館やみずほPayPayドーム福岡、マリゾンなどの魅力的な施設が立ち並びます。

Seaside Momochi offers citizens an enjoyable space by the sea with the development of Fukuoka Tower and seaside parks. Other attractive facilities such as Fukuoka City Museum, Fukuoka PayPay Dome, and Marizon are also located in the area.



■シーサイドももち海浜公園



■マリゾン



■百道浜の夜景

## 西福岡マリナタウン・福岡市ヨットハーバー

Nishi Fukuoka Marina Town and Fukuoka City Yacht Harbor

マリノアや福岡市ヨットハーバーなどのマリンレジャー基地に隣接しており、住宅と海と緑が調和した魅力的な街づくりが実現しています。

Adjacent to marine leisure base including Marinao and Fukuoka City Yacht Harbor, the housing area is in complete harmony with the sea and surrounding greenery.



■マリナタウン海浜公園



■西福岡マリナタウン



■福岡市ヨットハーバー

# 自然と人の共生をめざすエコパークゾーン

Eco Park Zone

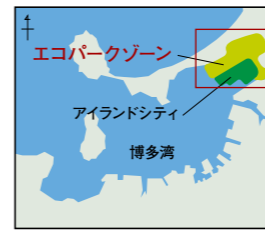
エコパークゾーンでは「自然と人の共生」をめざし、地域の特性を活かしながら自然環境の保全・創造に取り組んでいます。

毎年たくさんの渡り鳥が訪れる和白干潟をはじめ、エコパークゾーンは、貴重な海浜植物や、魚・貝・カニなどの多種多様な生き物を育む自然豊かな場所です。

また、潮干狩りや散策、バードウォッチングなど、身近に自然と触れ合うことができる親水空間としても親しまれています。

Eco Park Zone aims at "Symbiosis between Nature and Man" and is committed to preserve and create the natural environment while taking advantage of regional characteristics. It is rich in nature, nurturing precious seaside plants and a wide variety of living creatures such as fish, shellfish, and crabs, including the Wajiro Tidal Flat where many migratory birds stopover every year.

Eco Park Zone is also a familiar waterfront space where people can experience nature, such as clam digging, strolling, and bird watching.



## ECO PARK ZONE

エコパークゾーン約550ha

博多湾東部に位置するアイランドシティ周辺の海や海岸を含むエリア

The area including the sea and the coast around Island City located in the eastern part of Hakata Bay



エコパークゾーンで実施した施策

わしろりかみ 和白干潟ゾーン WAJIRO TIDAL FLAT zone  
干潟を中心とした豊かないのちを育むゾーン



アイランドシティはばたき公園  
アイランドシティの北東部に、エコパークゾーンの豊かな自然を目の前で実感し、野鳥観察などもできる公園の整備を進めています。

Island City Habataki Park  
In the northeast of Island City, we are developing a park to closely experience nature of Eco Park Zone and also to watch wild birds.



うみのなかみち 海の中道ゾーン UMINONAKAMICHI zone  
砂浜に親しむゾーン



かすみがおか 香住ヶ丘ゾーン KASUMIGAOKA zone  
水辺と緑に親しむゾーン



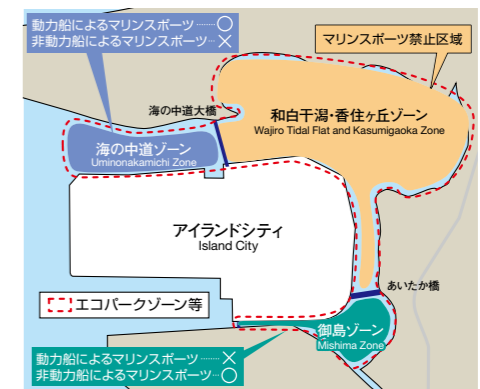
みしま 御島ゾーン MISHIMA zone  
歴史的要素を活かした憩いのゾーン



### 利用水域の指定

- ※潮干狩り・水生生物観察などのレクリエーション活動→全ゾーンOK
- ※水域管理・人命救助・水産資源に関する船舶の通行→全ゾーンOK
- ※大会などイベント開催時は、連絡会議での合意の上で、指定水域以外での利用を認めるものとする。
- ※その他、やむを得ず通行する場合は、自然環境・周辺環境に配慮し、微速走行に努めるものとする。

〈用語解説〉動力船：エンジン付の船舶(モーターボートなど)  
非動力船：エンジンが付いてない船舶(カヌー、手こぎボートなど)



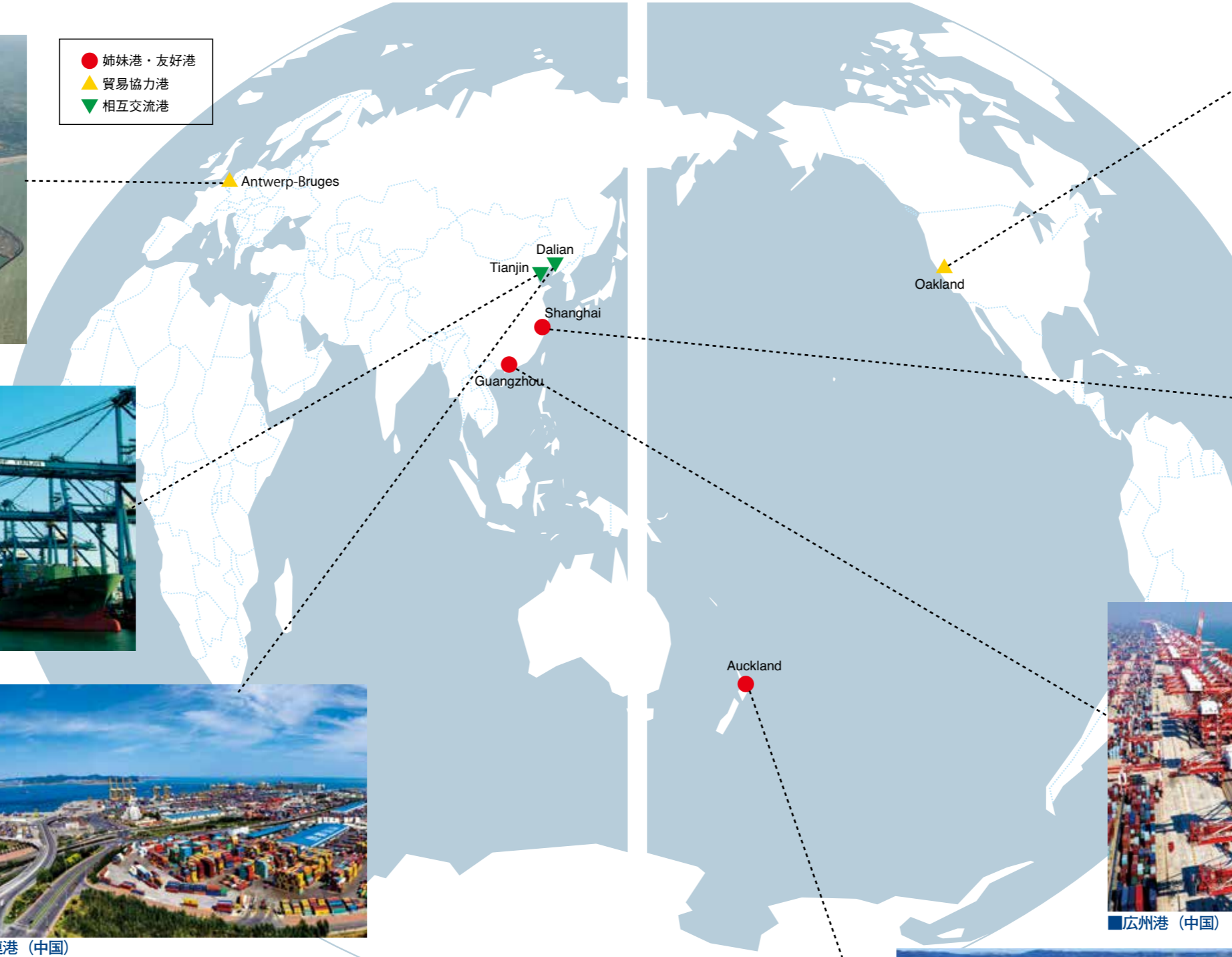
# 博多港の姉妹港・友好港・貿易協力港・相互交流港

Sister Ports, Trade Enhancement Ports and Friendship Ports



■アントワープ・ブルージュ港 (ベルギー)

- 姉妹港・友好港
- ▲ 貿易協力港
- ▼ 相互交流港



■オークランド港 (アメリカ)



■上海港 (中国)



■天津港 (中国)



■大連港 (中国)



■広州港 (中国)



■オークランド港 (ニュージーランド)

港名 (国名) Port Name (Country)	位置づけ Relation	締結年月日 Date of Conclusion
オークランド港 Ports of Auckland (New Zealand)	姉妹港 Sister Port	1979年10月18日 October 18, 1979
オークランド港 (アメリカ) Port of Oakland (America)	貿易協力港 Trade Enhancement Port	1988年3月31日 March 31, 1988
アントワープ・ブルージュ港 (ベルギー) Port of Antwerp-Bruges (Belgium)	貿易協力港 Trade Enhancement Port	1999年8月3日 August 3, 1999
大連港 (中国) Port of Dalian (China)	相互交流港 Mutual Exchange Port	2003年9月25日 September 25, 2003
上海港※ (中国) Port of Shanghai※ (China)	友好港 (姉妹港) Friendship Port (Sister Port)	2004年9月1日 September 1, 2004
天津港 (中国) Port of Tianjin (China)	相互交流港 Mutual Exchange Port	2005年1月19日 January 19, 2005
広州港 (中国) Port of Guangzhou (China)	友好港 (姉妹港) Friendship Port (Sister Port)	2005年11月18日 November 18, 2005

※上海港とは1997年4月1日から相互交流を開始 \*Mutual exchange with the Port of Shanghai began on April 1, 1997.

# 開港からのあゆみ

History of Hakata Port

## 1899年、(明治32) 博多港の開港

明治時代の幕開けとともに、博多港はその地理的な条件を認められ、1883(明治16)年に一般開港外の特別貿易港に指定され、長崎税関出張所が設置。さらに1889(明治22)年には、特別輸出港として米、麦、麦粉、石炭、硫黄の5品目を輸出することが認められ、その頃、博多港に全長360m幅7.2mの最初の木造棧橋が完成しました。やがて1899(明治32)年には博多港は開港指定され、国際貿易港としてスタートしました。

- 1908(明治41)年 博多船溜完成
- 1910(明治43)年 福岡船溜完成
- 1916(大正5)年 博多湾築港株式会社の設立
- 1923(大正12)年 博多港浚渫工事完了



■明治23年に完成した博多港初の木製さん橋

## 1927年、(昭和2) 第2種重要港湾指定

1927(昭和2)年博多港は第2種重要港湾に指定されてから、港湾修築計画が具体化し、国の直轄工事として第1期修築工事が開始され、現在の中央ふ頭の一部ができあがりました。1936(昭和11)年には博多築港記念大博覧会が盛大におこなわれました。

1945(昭和20)年博多港は海外引き揚げ援護港に指定され、139万人の海外引き揚げ者を迎え入れるとともに50万人が出国しました。

- 1939(昭和14)年 第1種重要港湾に指定
- 1942(昭和17)年 博多臨港鉄道開通
- 1945(昭和20)年 引き揚げ援護港に指定
- 1948(昭和23)年 博多検疫所設置。港湾区域指定
- 1949(昭和24)年 開港安全宣言(機雷掃海の完了)
- 1950(昭和25)年 港湾法公布

## 1951年、(昭和26) 重要港湾指定

1951(昭和26)年には重要港湾に指定され、翌年福岡市が博多港の管理者となり、近代港湾に向けた整備が本格化していきました。

- 1958(昭和33)年 東南アジア航路開設
- 1959(昭和34)年 インド・パキスタン航路開設
- 1960(昭和35)年 博釜定期航路再開
- 1961(昭和36)年 旅順・大連航路開設
- 1964(昭和39)年 博多ポートタワー(旧博多パラダイス)開設
- 1968(昭和43)年 動物検疫港に指定



■中央ふ頭横さん橋に停泊中の輸送船(昭和31年)



■博多築港記念博覧会(昭和11年)の会場正門のにぎわい



**博多港の2000年にわたる国際交流**  
博多港の国際交流拠点としての発展は、西暦57年の金印にまでさかのぼることができます。8世紀ごろの遣唐使の時代には、鴻臚館とよばれる迎賓館が設けられ、外国使節の応接や遣唐使の大陸への船出の出発点となりました。さらに16世紀後半には博多商人が国際貿易の舞台に躍り出てきました。開港後の近代港湾としての発展を含め、博多港には2000年にわたる国際交流の歴史があるのです。

**2,000 Years of International Exchanges at Hakata Port**  
Development of the Port of Hakata as an international exchange hub dates back to AD57 when the Emperor of the Han Dynasty of China presented Gold Seal to the King of Na (present Fukuoka). Around the 8th century when Japanese envoys were sent to China, a guest house named Korokan was established to welcome foreign envoys and to see off Japanese envoys to the Asian continent. Furthermore, Hakata merchants started international trade in the late 16th century. The Port of Hakata has developed into a modern port and made 2,000-year history of international exchanges since its opening.

- 1973(昭和48)年 箱崎地区の埋立が竣工
- 1974(昭和49)年 博多ふ頭竣工
- 1976(昭和51)年 東浜ふ頭、香椎地区竣工。タイ航路、地中海航路、インドネシア航路開設
- 1977(昭和52)年 北米航路コンテナ輸入港指定
- 1979(昭和54)年 オークランド港(ニュージーランド)と姉妹港締結
- 1981(昭和56)年 福岡国際センター、福岡サンパレス開館
- 1984(昭和59)年 北米定期航路開設
- 1986(昭和61)年 欧州定期航路・ニュージーランド定期航路開設  
地行・百道地区竣工
- 1988(昭和63)年 世界一周航路開設、小戸・姪浜地区竣工  
オークランド港(アメリカ合衆国)と貿易協力港締結
- 1989(平成元)年 アジア太平洋博覧会'89開催  
博多港港湾計画改訂

## 1990年、(平成2) 特定重要港湾に昇格

(2011年に国際拠点港湾に名称変更)

## 世界を結ぶ拠点港へ

国際コンテナ貨物の航路開設が急伸する1990年代は、港の新しいかたちを追求する時代でもありました。

- 1991(平成3)年 ベイサイドブレイス博多埠頭開業
- 1993(平成5)年 博多国際ターミナル開業、マリノア開業
- 1994(平成6)年 香椎パークボート外貿コンテナターミナル供用開始  
アイランドシティ整備事業開始
- 1995(平成7)年 中核国際港湾指定  
マリメッセ福岡開業
- 1998(平成10)年 香椎パークボート全体竣工
- 1999(平成11)年 開港100周年を迎える  
ゼーブルージュ港(ベルギー)と貿易協力港締結
- 2000(平成12)年 アイランドシティ一部竣工  
国内初、博多物流ITシステム(HITS)開発・導入
- 2001(平成13)年 水深14m(幅200m)航路開設  
博多港港湾計画改訂
- 2002(平成14)年 アイランドシティ内道路一部開通
- 2003(平成15)年 福岡国際会議場開業  
水深14m(幅400m)航路開設  
アイランドシティ水深14mコンテナターミナル供用開始  
上海港(中国)と相互交流港締結  
大連港(中国)と相互交流港締結
- 2004(平成16)年 上海港(中国)と友好港締結
- 2005(平成17)年 天津港(中国)と相互交流港締結  
第22回全国都市緑化ふくおかフェア開催  
広州港(中国)と友好港締結  
アイランドシティ照葉のまちびらき
- 2007(平成19)年 博多ポートタワー・博多港ベイサイドミュージアムリニューアルオープン
- 2008(平成20)年 アイランドシティ水深15mコンテナターミナル供用開始
- 2010(平成22)年 博多港エココンテナターミナル稼働

## 2011年、(平成23) 日本海側拠点港に選定

「東アジアに面する日本海ゲートウェイ・博多港」として、アジアの活力を取り込み、産業の振興・観光立国の実現に貢献する我が国の拠点港湾を目指します。

## 2013年、(平成25) 国際港湾協会(IAPH)総会で 「港湾環境賞金賞」受賞

2014(平成26)年 博多ポートタワー開設50周年



■「港湾環境賞」金賞の盾

## 2015年、(平成27) 中央ふ頭クルーズセンター 供用開始

## 2016年、(平成28) 博多港港湾計画改訂



■中央ふ頭クルーズセンター

## 2018年、(平成30) 中央ふ頭岸壁延伸

## 2021年、(令和3) 自動車専用道路 アイランドシティ線開通

- 1899 The Port of Hakata was designated as an open port, making a start as an international trade port.
- 1908 Hakata Basin completed.
- 1910 Fukuoka Basin completed.
- 1916 Hakata Bay Chikko Co., Ltd established.
- 1923 Hakata Port dredging works completed.
- 1927 The port was designated as a second-class major port.
- 1939 The port was designated as a first-class major port.
- 1942 Hakata Harbor Railways opened.
- 1945 The port was designated as a repatriation support port.
- 1948 Hakata Quarantine was established. Harbor Limit was designated.
- 1949 The port declared its safe operation (completion of minesweeping).
- 1950 Proclamation of the Port and Harbor Law
- 1951 The port was designated as a major port.
- 1958 Route to Southeast Asia opened.
- 1959 Route to India and Pakistan opened.
- 1960 A regular Hakata-Busan route reopened.
- 1961 A route to Lushun and Dalian opened.
- 1964 Hakata Port Tower (the former Hakata Paradise) opened.
- 1968 The port was designated as a quarantine port for animals.
- 1973 Reclamation of Hakozaki Wharf was completed.
- 1974 New Hakata Wharf completed.
- 1976 New Higashihama Wharf and the Kashii area completed.  
Routes to Thailand, the Mediterranean Sea and Indonesia opened.
- 1977 The port was designated as a container importing port on a North American route.
- 1979 Sister Port Agreement was concluded with the Port of Auckland, New Zealand.
- 1981 Fukuoka Kokusai Center and Fukuoka Sun Palace opened.
- 1984 A regular route to North America opened.
- 1986 Regular routes to Europe and New Zealand opened.  
Reclamation works of Jigyo and Momochi areas completed.
- 1988 The round-the-world route opened.  
Reclamation works of Odo and Meinohama areas completed.  
Trade Enhancement Port Agreement was concluded with the Port of Oakland, the United States of America.  
The Asia-Pacific Exposition Fukuoka '89 was held.  
Hakata Port Plan revised.
- 1990 The port was promoted to a specially designated major port.
- 1991 Bayside Place Hakata Pier opened.
- 1993 Hakata Port International Terminal opened.  
Marinoa opened.
- 1994 Container terminal for foreign trade at Kashii Park Port started its operation.  
Island City Development Project started.
- 1995 The port was designated as the nucleus international port.  
Marine Messe Fukuoka opened.
- 1998 Construction of Kashii Park Port completed.
- 1999 The port marked the 100th anniversary of its opening.  
Trade Enhancement Port Agreement was concluded with the Port of Zeebrugge, Belgium.
- 2000 Reclamation works of Island City partially completed.  
Hakata Port Logistics IT System (HITS) developed and introduced for the first time in Japan.
- 2001 Approach channel (depth: 14m, width: 200m) opened.  
Hakata Port Plan revised.
- 2002 Roads at Island City partially opened.
- 2003 Fukuoka International Congress Center opened.  
Approach channel (depth: 14m, width: 400m) opened.  
Island City Container Terminal of 14 meters in depth opened.  
Friendship Port Agreement was concluded with the Port of Shanghai, China.
- 2004 Friendship Port Agreement was concluded with the Port of Dalian, China.
- 2005 Sister Port Agreement was concluded with the Port of Shanghai, China.  
Friendship Port Agreement was concluded with the Port of Tianjin, China.  
The 22nd National Urban Greenery Fukuoka Fair was held.  
'Teriha Town' opened at Island City.
- 2007 Sister Port Agreement was concluded with the Port of Guangzhou, China.  
Hakata Port Tower and Hakata Port Bayside Museum were renovated and opened.
- 2008 Island City Container Terminal of 15 meters in depth opened.
- 2010 Hakata Port eco-friendly container terminal started.
- 2011 The port was selected as a hub port on the Japan Sea coast.
- 2013 The port was awarded the gold prize of the IAPH Port Environment Award.
- 2014 Hakata Port Tower marked the 50th anniversary.
- 2015 Chuo Wharf Cruise Center opened.
- 2016 Hakata Port Plan revised.
- 2018 A berth at Chuo Wharf extended.
- 2021 Fukuoka Urban Expressway Island City Route opened.